広報 ふくら

第３１号
２０１９年７月発行

浅井湯田地域づくり協議会
事務局　湯田まちづくりセンター内　　TEL 0749(74)1438
メールアドレス　azaiyutatiiki@zd.ztv.ne.jp

令和元年度定期総会開催される

去る四月二十八日、浅井湯田地域づくり協議会の定期総会が会員約五〇名の参加のもと湯田まちづくりセンターにおいて開催されました。

総会では、会長が議長を務め、平成三〇年度の事業報告、会計決算報告、令和元年度事業計画、予算報告が行われ、すべて承認されました。また新年度の会長として伊藤英司氏が、代表理事として連合自治会長の土田数之氏が選任されました。

教育文化体育部会の部会長が本庄ひろ子氏から千田年孝氏にバトンタッチされました。本庄氏は引き続き副部会長として活動していただきます。また今年度より同副部会長に宮本佳代子氏が、総務広報部副部会長に清水やす子氏、西橋志奈子氏、地域振興部副部会長に土田孝洋氏が就任しました。少し若返った（笑）本地協を今年度もよろしくお願いします。

（※総会開催時点では元号は「平成」でしたがこの原稿では「令和元年」に統一しております。ご了承ください。）

注目の今年度新規事業

令和元年度の事業計画において例年と異なるものをご紹介します。新規の事業といたしまして、総務広報部会では、夏休み中の平日週に二回、「湯田っ子広場」を湯田まちづくりセンターと共催で実施する予定です。保護者が出勤した後、家庭で過ごす子ども達を預かり、集団生活の楽しさを味わってもらおうという企画です。詳しい要項については湯田まちづくりセンターにお問い合わせください。

また「湯田っ子広場」では、生活指導員ボランティア、学習及び遊びサポーターを募集しています。子どもの好きな人、お世話いただける人は是非まちセンまでお申し出ください。

自然災害への備えが問われた防災講演

今年度は総会に先立ち講演会を設定しました。長浜市防災危機管理局の安原秀男氏に「大地震・水害への備えと自主防災」と題して講演をしていただきました。

近年水害、雪害、台風、竜巻、地震等、自然災害が相次いでいる中、どうこれらに対処していくか、大きな課題となっています。明日、起きるかも知れない災害です。少しでも被害を減らすために、私たちは今何を

令和元年度事業予定

全体として

- 第 10 回 浅井湯田区民まつり　11 月 17 日（日）
- 先進地研修　日時（未定）
- 湯田（豊）かな食文化を通じた交流事業

総務広報部会

- 広報「ふくら」発行　年３回
- FaceBook「浅井湯田地域づくり協議会」発信
- 湯っ田りウォークの開催　１回目　６月１６日（日）２回目（未定）
- 夏休み湯田っ子広場の実施

健康福祉部会

- 健康講座開催　６月９日（日）
- 料理教室開催　年２回

安全環境部会

- 湯田学区一斉クリーン作戦の実施
- 通学交通安全指導（毎月１日・１５日及び春、秋交通安全週間）
- 交通安全のぼり旗設置（春、秋交通安全週間）
- 区民まつりの中で防災フェアの開催

教育文化体育部会

- 通学合宿の実施　９月２６日（木）～９月２９日（日）
- 地域交流イベント　６月　２３日（日）
- 長浜市陸上競技大会協力
- 長浜市あざいお市マラソン大会協力
- 愛のパトロール実施（青少年育成会議と提携）

地域振興部会

- ふくらの森整備活動　原則第３日曜日午前中
  - ①景観保全（下草刈り、侵入竹の伐採、苗木の植栽等）
  - ②林産物の活用（椎茸栽培、薪生産）
  - ③環境教育フィールド整備（里道、林内整備、標柱設置等）
- 湯田小との連携ー森林環境学習支援および湯田小フェスタへの協力、浅井福祉の会への協力

自分のため家族のため　みんな受けよう健康診断

健康診断のお知らせ：まだ受診されていない方は、近隣会場では上草野まちづくりセンター（野瀬町）、虎姫まちづくりセンター、浅井文化ホール等で実施されますので、受診してください。詳しい内容は、長浜市健康推進課（☎ 65-7759）までお問い合わせください。

会長・代表理事 ご挨拶
よろしくお願いします

会長　伊藤　英司

浅井湯田地域づくり協議会は、地域古来の精神文化「ありがたい・もったいない・おかげさま」を基盤にした活動を行う。これは本協議会会則第三条の目的条項の一部です。

さて、皆さんはこの三つの考え方についてどのようにお感じになられますか。

私は、まさに湯田地域の人々を端的に表現したものと受け止め、地域づくりの活動の中で強く感じる時があります。歳を重ねた方々は勿論、子ども達を育てる若いお父さんとお母さん、そして学校に通う子ども達までその精神は脈々と受け継がれています。

そこで、本年度の活動は、

一、参加して良かった、楽しかったとありがたがってもらえる事業

二、協議会のスタッフって、こんなことまでやってくれるんだと思ってもらえる行動

三、あんたらのお陰で地域への愛着と誇りが倍増したと思ってもらえる活動

この三点を心において、二十二名の運営委員を中心に、何事にも常に支援していただいているスタッフの皆さん、そして、地域をリードしまとめ上げてくださる連合自治会の方々、また地域活動の拠点である湯田まちづくりセンターの職員さんと共に、令和元年を意義ある年にしたいものです。

代表理事　土田　数之

湯田地域では、核家族化による支え合い意識の低下やご近所付き合いの減少など、地域コミュニティの意識も徐々に薄れてきました。地域活動の担い手も減少し、地域の祭りや行事を維持することが困難になってきました。

また、各地で災害が多発し、もっとも身近な地域社会のつながりの大切さが改めて実感されるようになっています。

このような社会情勢の変化に備えるため、住民が協力連携して活動を行う新たな地域の仕組みが必要になってきました。

そうした中、浅井湯田地域づくり協議会の代表理事としてご選任いただき、その重責に身の引き締まる思いですが、今後協議会の活動を通じて、今まで以上に浅井湯田地域が元気で魅力的なまちとなるよう努力する所存でございますので、なにとぞご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げまして、就任のごあいさつとさせていただきます。

絵本作家
真珠まりこ氏　湯田小へ

去る五月十三日、湯田小学校において、絵本作家の真珠まりこ氏による講演会が本地協共催として開かれました。

湯田小児童も参加し、前半は低学年向きに、後半は高学年向きにお話をしていただきました。真珠氏は、絵本「もったいないばあさん」シリーズの作者として子ども達や大人に今人気の絵本作家です。

前半は低学年児童に向けて「もったいないばあさん」の絵描き歌や「もったいないばあさん音頭」を取り入れた大変楽しい講演でした。

後半は高学年児童に向けて、「もったいないばあさん」のシリーズを始めたきっかけから、世界じゅうの苦しむ子ども達と日本の子ども達とをつなげる活動まで現在真珠氏が取り組んでいる活動について、スライドを使いながら分かりやすく説明してくださいました。

「もったいない」の意味についても話していただきました。聞きながら、どんな物にも、そのものの持つ値打ちがある。その値打ちを一つも無駄にせず最大限に生かそうとすることが「もったいない」なのだなと気づかされました。

また、日本はむかし和の国と呼ばれた。「和」は「平和」の「和」であり「調和」の「和」である。いろいろな宗教、いろいろな人種、いろいろな考え、いろいろな能力をもつ人々が、うまく調和しながら共に生きていける国、それが「和の国」なのだ、というお話に心うたれました。

真珠まりこ氏の講演に熱心に聞き入る子ども達

令和元年度運営委員紹介

会長	伊藤英司
副会長	佐野信行
代表理事	土田数之
総務広報部会長	清水峯生
同　副部会長	佐野信行
同　副部会長	田邊政文
同　副部会長	清水やす子
同　副部会長	西橋志奈子
健康福祉部会長	出口末徳
同　副部会長	廣幡光男
同　副部会長	木村祝恵
安全環境部会長	田中日出男
同　副部会長	奥出隆夫
同　副部会長	久保田雅人
教育文化体育部会長	千田年孝
同　副部会長	本庄ひろ子
同　副部会長	川添義夫
同　副部会長	饗場伸一
同　副部会長	宮本佳代子
地域振興部会長	片桐達夫
同　副部会長	伏木正和
同　副部会長	中川仁男
同　副部会長	土田孝洋
事務局（地域活力プランナー）	中川仁男
事務局（地域活力プランナー）	清水やす子

よろしくお願いします。